



# 「学校週五日制」について

## 教育委員会の考え方 学校現場の声など

今年の九月から、第二土曜日を休業日とする「学校週五日制」が実施されることになった。実施までにまだ間があり、目下模索中で実感がわかないというのが現状であるが、既に国家公務員は五月から完全週休二日制を導入しており、夏休みが終わると学校も九月十二日は休業日だ。修学旅行についても影響が出るであろうが、これを前向きに受け止めることが必要であろう。今回は県教育委員会の考え方や学校現場の声を幾つかまとめてみた。

### 修学旅行などの行事の準備時間を削減

#### 岩手県教委

岩手県教育委員会は、四月十五日、九月から実施される「学校週五日制」に関する基本的な考え方と、県、学校、市町村教育委員会の対応策をまとめた。

それによると、月一回休業日となる土曜日の対応として、学校行事や教科外活動の精選・統合、行事の準備時間の削減等を挙げ、保護者が家庭に不在の園児・小学生低学年・養護学校生の登校希望者には、学校施設を開放し、教員が遊びなどの活動をボランティアとして指導するとしている。

私立学校に対しても、公立学校と同様の対応、学習塾には「塾通いが増加する」という危惧があり、このことに留意した取組みが行われるよう理解を求めるとし、企業にも「週休二日制」の普及、協力を求めている。

トイレなど学校施設を開放。家庭で対応できない児童に対しては、文部省が予算措置する指導員を学校に配置するほか、必要に応じて学校が遊びなどの活動を実施し、教員らボランティアの協力を求めるよう配慮する。

学校開放については、安全管理の責任体制や教組側の協力が得られるか、などの問題が残される。

### 運動会・遠足は年一回に 地域活動に関連付けも

#### 福岡県教委

福岡県教育委員会の「学校における対応」の概要は、次のとおりである。

一、教育課程上の基本的な対応

(一) 教育課程の編成に当たっては、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を重視し、基礎的・基本的内容を自己実現に役立つよう身に付けさせるようにする。

その際、子供が自らの生き方をもつて自分の生活を展開できる能力の育成を重視する。

(二) 子供の学習負担に配慮しつつ指導内容の改善や指導方法の工夫を行い、次の観点

点に立って教育水準を維持するよう努める。

・新学習指導要領の趣旨にのっとり、学力を単なる知識や技能の量の問題としてとらえるのではなく、その後の学習や生活に生きて働く資質や能力との関連においてとらえ直す。

・教師の指導力を高め、指導内容や指導方法の改善に努力する。

・家庭や地域社会においても、豊かな体験を深める時間や場が確保できるように配慮する。

・子供の学習負担について、基礎的・基本的な内容の指導に必要な授業時間

に、教科等の授業時数を確保する。

三、学校行事の見直し、精選の具体例(要点)

○教科の本質を保って教科の時間内で実施ができるものは教科時数に組み込む。

・スポーツフェスは体育の時間に実施する。

・写生会は図工の時間に実施する。

○行事の集約精選、行事に伴う授業カット時数を削減。

・年一回実施していた運動会のうち、春の運動会は実施しない。

○地域行事として実施できる行事は、地域の運営に任せよう方向で検討。

・親子ウォークラリーは、「土曜休業日」の自主活動に移行する。

○学校裁量の時間を活用。

・五・六年の宿泊研修は学校裁量の時間に実施。具体的には、宿泊研修で欠

となった授業を、週時程表に位置づけられた学校裁量の時間で補充。

○中学校の行事別具体例

▽儀式的行事→終業式当日にも授業を実施。

▽学芸的行事→文化祭の計画を見直し、総指導時数を削減。

▽健康安全・体育的行事→校内マラソン大会を体育の授業とみなす。

▽旅行・集団宿泊的行事→秋の遠足は地域の青少年活動との関連から学校では実施しない。

▽勤労生産・奉仕的行事→学校の整備活動は親子の触れ合い活動として地域活動で実施。

なお、同県教委では、学校と保護者、地域団体の連携強化のマニュアルを各市町村教委へ配布、学校ごとに嘱託の指導員配置などの方針を固めている。



手に手に土産を持ち北へ帰る修学旅行生たち(上野駅)

KANSAI KISEN

大阪・神戸 直行便 別府さんふらわあ 12,000ト

大阪南港 19.00発 8.20着 別府 8.00着 19.20発

神戸中突堤 20.30発 6.50着

信頼の船旅 関西汽船

船客営業部販売課 大阪市北区梅田1-1 ☎(06) 344-7031

東京支社 東京都中央区八重洲1-9-9 ☎(03) 3274-4273

とびだせ自然へ  
緑の箱根へ

箱根高原ホテル

〒250-05 神奈川県箱根町元箱根164  
電話0460-4-8595(代表)

レクチャーホール

●修学旅行/林間学校/スキー体験学習

奥日光の自然と仲間たちとの語らい……

夏は林間学校、冬はスキー  
自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください

鉄筋3階建/小学生550名/中学生550名/高校生450名収容/大浴場あり

奥日光高原ホテル

〒321-16 栃木県日光市湯元温泉  
TEL. 0288(62)2121(代表)

きっと、思い出いっぱいの旅になる。

修学旅行は、鈴鹿サーキットで体験学習。

見て聞いて、触れて学ぶ。ためになる体験をしたら、宿泊はリゾート感覚あふれる(ホテルK棟)をご利用ください。魅力的な施設・サービスが修学旅行を思い出深いものにします。学校団体用SPECIAL PRICEにてお待ちしております。そのほか、北欧風のD棟・E棟・G棟・J棟、団体でのお泊りに便利なビレッジ棟など多彩な宿泊施設もご利用ください。

体験学習のご案内

- エンジン教室 ●本田技研鈴鹿製作所工場見学
- モトビア ●モータースポーツ観戦 ●地曳綱
- 潮干狩 ●伊勢形紙彫り ●茶摘み ●テーブルマナー 他

お問い合わせ・お申し込みは——  
鈴鹿サーキット

〒510-02 三重県鈴鹿市瑞生町7992 ☎(0593) 78-1111  
〒107 東京都港区赤坂2-17-22  
東京営業所 赤坂ツインタワービル東館16階 ☎(03) 3582-3221